

令和7年度
事業報告書
(案)

松戸市立博物館

I 概要

令和7年度、当館主催の資料展・企画展は、初の試みとなる戸定歴史館との連携特別展「まつど×とくがわ-昭武・武定の生きた明治・大正・昭和-」と館蔵資料展「誕生・結婚・死の儀礼-人生の始まり方 終い方-」、博学連携展示「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」の3件である。連携特別展では聖徳大学短期大学部保育科と連携したワークショップや、展示にちなんで一般社団法人松戸市観光協会や松戸市観光梨園組合連合会と連携し、「まつどの梨」の出店販売を行った。また、館蔵資料展でも当館初の試みとして展示にちなんだ葬式の饅頭を作るワークショップや、オリジナルグッズ「人生儀礼焼菓子」を販売し、来館者から好評を得ることができた。

また松戸市総務部総務課主催で「松戸市平和祈念展 未来へとつなぐ平和」を開催し、所蔵資料に加えて広島市、長崎市の貴重な資料の展示や語り部のお話をとおして、戦後80年の節目に平和について考える機会を提供した。

常設展示リニューアルについては、令和7年8月22日全員協議会での「松戸市財政運営の基本方針」を受けて一旦停止となった。しかしながら、リニューアルに向けての調査、研究は続けており、プレイルーム等で子どもミュージアムの充実を見据えた体験講座の施行イベントを開催した。

一方、空調工事は予定どおり着工しており、令和8年1月から8月末まで全館休館している。

そのほか学習支援事業として、例年同様の各種講座・講演会を開催し、プレイルームでは月毎の季節に合わせたイベントや、竪穴住居を使った体験講座の実施など、多岐にわたる事業を展開した。

Ⅱ 事業の概要

1 資料・企画展示

(1) 連携特別展「まつど×とくがわ-昭武・武定の生きた明治・大正・昭和-」

◆展示意図

水戸徳川家最後の藩主徳川昭武は、松戸の戸定ヶ丘に邸宅を建設し、明治17年(1884)に移住した。昭武・武定(昭武2男、松戸徳川家初代当主)をはじめとする戸定邸の人びとは、周辺地域と関わり合いながら、新しい環境での生活を営んだ。戸定歴史館と市立博物館の初の連携展として、戸定歴史館は「地域に生きた華族」の視点から、松戸町や近隣農村の人びととの関わりに注目し、市立博物館では「華族の生きた地域」の視点から、昭武がカメラに収めた市域の原風景を紹介した。

関連企画として戸定歴史館・戸定邸・博物館にスタンプラリーを設置し、すべてのスタンプを集めた方にはトートバッグをプレゼントするなど、市の歴史や歴史施設を多くの方々に知ってもらい、郷土への愛着意識の醸成の一助となるべく開催した。



- ◆主 催 松戸市戸定歴史館(企画担当 大沼 大晟)・松戸市立博物館(企画担当 林 幸太郎)
- ◆後 援 千葉テレビ放送株式会社・北総線沿線地域活性化協議会・(公財)松戸市文化振興財団
(一社)松戸市観光協会
- ◆協 力 京成電鉄株式会社・流鉄株式会社
- ◆会 期 7月12日(土)～8月31日(日)44日間
- ◆観覧者数 6,362人(戸定歴史館2,679人・博物館3,683人)
- ◆観 覧 料 有 料 一般150円・高大生100円・中学生以下無料 /
三館共通券 一般620円・高大生300円
博物館共通券 一般370円・高大生180円 / 戸定共通券 一般320円・高大生160円

◆関連企画

1. 学芸員講演会

- 演 題 「戸定邸からみる“まつど”の近代」
- 講 師 大沼 大晟(戸定歴史館学芸員)・林 幸太郎(博物館学芸員)
- 開催月日 令和7年7月27日(日)
- 参加人数 65人

2. 歴史を語る

演 題 「維新の草莽 金原忠蔵とその慰霊・顕彰」
講 師 岩立 将史 (学習院大学史料館 助教)
開催月日 令和7年8月10日(日)
参加人数 56人

3. スタンプラリー

概 要 戸定邸、戸定歴史館、博物館に設置のスタンプを全て集めるとオリジナルトートバッグがもらえる。
開催月日 展示期間中
参加人数 632人

4. ワークショップ「オリジナル手ぬぐいを作ろう！」

概 要 昭武や武定などデザインのスタンプを使って、オリジナル手ぬぐいを作る。
講 師 鄙里 沙織(木エアーティスト・東京藝術大学美術学部テクニカルインストラクター)
開催月日 ①令和7年8月16日(土)博物館・②8月17日(日)戸定歴史館
参加人数 ①15人 ②14人

5. ワークショップ「ひろがれ！こどものまち～かめの地図と、梨の木のしたで！～」

概 要 松戸市の形を模した“かめの地図”に、子どもたちがオリジナルの家や建物を配置する“まちづくり”を行い、松戸の梨の手遊び歌など松戸の魅力を体験した。
講 師 聖徳大学短期大学部保育科まつどソング研究グループ
開催月日 ①令和7年8月10日(日)戸定歴史館・②8月11日(月・祝)博物館
参加人数 ①21人 ②31人



オリジナルグッズ
「狩獵服姿の昭武くん」アクリルキーホルダー



戸定歴史館・博物館 初！コラボ展示記念クリアファイル

(2) 館蔵資料展「誕生・結婚・死の儀礼-人生の始まり方 終い方-」

◆展示意図

人が誕生し、成人となり結婚し、老い、死を迎え、先祖にまつられるまでの人生における様々な儀礼に関する民俗資料を展示した。人の一生に関わる数々の儀礼を通し、地域社会で培われてきた人生の姿を伝える一方で、現在行われている結婚式や成人式などの様子も紹介した。

また、子どもに分かり易いように漫画デザインを用いたパンフレットを作成した。さらに展示テーマ「誕生・結婚・死」にまつわる「人生儀礼焼き菓子」をオリジナルグッズとして販売し、“人生の格言くじ”を付けるなど大人から子どもまで楽しめる企画を盛り込んだ。



◆主 催 松戸市立博物館(企画担当 青木 俊也・米村 創)

◆後 援 千葉テレビ放送株式会社・北総線沿線地域活性化協議会・
(公財)松戸市文化振興財団・(一社)松戸市観光協会

◆協 力 京成電鉄株式会社・流鉄株式会社

◆会 期 9月20日(土)～11月3日(月・祝)39日間

◆観覧者数 5,796人

◆観覧料 無料

◆関連企画

1.学芸員講演会

演 題 「死者の『魂』の行方」
講 師 青木 俊也(博物館学芸員)
日 時 令和7年10月12日(日)
参加人数 71人

2. 歴史を語る

演 題 「人生儀礼の世界」
講 師 長沢 利明(元法政大学講師)
日 時 令和7年10月25日(土)
参加人数 44人

3.土曜解説会

概 要 担当学芸員による展示解説
開催月日 令和7年9月20日(土)、9月27日(土)、10月4日(土)、10月11日(土)、
10月18日(土)、11月1日(土)
参加人数 92人

4.ワークショップ「お葬式の饅頭を作ろう！」

概 要 最近あまり見かけなくなったお葬式で配られるお饅頭を作って、学芸員から展示の解説を聞く。

講 師 竹内 三代治(大正堂 和菓子職人)

開催月日 令和7年10月26日(日)

参加人数 14人

オリジナルグッズ「人生儀礼焼菓子」の一例



(3) 松戸市平和祈念展「未来へとつなぐ平和」

◆展示意図

松戸市では、「世界平和都市宣言」に基づき、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の達成を念願し平和事業を実施している。被爆者の平均年齢は85歳を超え、戦争を体験した人が減る中で、当時起こったことを次の世代へ継承していくことが急務となっている。広く市民に戦争の恐ろしさや平和の大切さ・命の尊さをあらためて考える機会を提供するため、戦後80年・世界平和都市宣言40周年を迎える節目の年に展覧会を開催した。

◆主催 松戸市総務部総務課(博物館担当 林 幸太郎)

◆会期 11月18日(火)～11月30日(日)12日間

◆観覧者数 2,062人

◆観覧料 無料



◆関連企画

1. 平和語り部

講師 児玉 三智子(日本原水爆被害者団体協議会事務局次長)

開催期日 令和7年11月22日(土)

参加人数 63人

2. 広島市原爆VRゴーグル体験会

概要 VRゴーグルを着け、原爆投下時から現代までの映像を体験視聴(広島市から借用)

開催月日 会期中

参加人数 385人

3. 平和の集い 特別版

概要 平和大使の活動報告や映画「この世界の片隅に」の上映、市立中学校による合唱

開催月日 令和7年11月30日(日)

会場 松戸市民劇場ホール

参加人数 212人

(4) 博学連携展示「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」

◆展示意図

本展示会は、小学校3年生の社会科カリキュラムに対応したもので100年ぐらい前の農家のくらしを展示し、さらに松戸の古い写真によって、まちの姿の変化を表現した。今のくらしへ、どのようにうつりかわってきたかを子どもたちに伝える意図を持つものである。

◆主催 松戸市立博物館(企画担当 青木 俊也、米村 創)

◆会期 ①1月15日(水)～5月18日(日)(93日)

②2月 7日(土)～2月22日(日)(14日)

※②は松戸市文化ホールギャラリー1にて開催

◆観覧者数 ①11,527人

(令和6年度:7,032人 令和7年度:4,495人)

②1,200人

◆観覧料 無料

◆関連企画

1.土曜ワークショップ(博物館友の会共催)

昔のくらしにまつわる様々な体験ができるワークショップを会期中の毎週土曜日に開催した。

・「天秤棒で桶をかついでみよう」(会場:企画展示室ロビー)

対象者 一般(子どもから大人まで)

開催月日 ①4月12日、5月3日、5月17日(全て土曜日)

13時00分～15時30分の間で随時

講師 博物館友の会有志

内容 水道がなかった頃、水汲みに使われていた桶を天秤棒で実際に担ぐ体験。屋内で実施のため、水は使用せずおもりで代用。担ぎ方を教わり、上手に運ぶコツを学んだ。

参加人数 94人(令和7年度実施分)

・「風呂敷をつかってみよう」(会場:企画展示室)

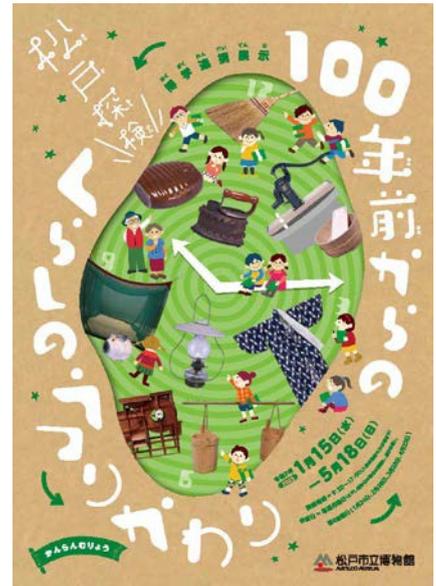
対象者 一般(子どもから大人まで)

開催月日 ①4月5日、4月26日(全て土曜日)
13時00分～15時30分の間で随時

講師 博物館友の会有志

内容 風呂敷でさまざまな形の物を包み、昔のくらしの工夫を体験した。

参加人数 54人(令和7年度実施分)



・「機織りをしてみよう」(会場:企画展示室ロビー)

対 象 者 一般(子どもから大人まで)

開催月日 ①4月19日、5月10日(全て土曜日)
13時00分～15時30分の間で随時

講 師 博物館友の会サークル・はたくさの会有志

内 容 古い布を裂いて作った緯糸(よこいと)を使って、機織り機で布を織る体験。

参加人数 43人(令和7年度実施分)

2 学習支援

(1) 講演会

■館長講演会

演 題 江戸時代の俳諧 小林一茶を迎えた人々
対 象 者 一般
開催月日 令和7年9月6日(土)13時～15時
講 師 渡辺 尚志(館長)
会 場 松戸市民劇場ホール
参加人数 234人

■歴史を語る

第1回 演 題 副葬品からみた古墳時代-装飾付大刀について-
対 象 者 一般
開催月日 令和7年8月2日(土)13時～15時
講 師 柏木 善治(公益財団法人かながわ考古学財団)
会 場 当館講堂
参加人数 54人

第2回 演 題 維新の草莽 金原忠蔵とその慰霊・顕彰
対 象 者 一般
開催月日 令和7年8月10日(日)13時～15時
講 師 岩立 将史(学習院大学史料館助教)
会 場 当館講堂
参加人数 56人

第3回 演 題 人生儀礼の世界
対 象 者 一般
開催月日 令和7年10月25日(土)13時～15時
講 師 長沢 利明(元法政大学講師)
会 場 当館講堂
参加人数 44人

■学芸員講演会(会場:当館講堂、13時～15時) 各学芸員が専門分野に関して講演した。

開催年月	タイトル	講師	参加人数
令和7年7月27日(日)	戸定邸からみる“まつど”の近代	大沼 大晟 林 幸太郎	65人
8月23日(土)	縄文時代の大きな竪穴住居	西村 広経	54人
10月12日(日)	死者の「魂」の行方	青木 俊也	71人
11月1日(土)	松戸で信仰される神々	米村 創	60人
11月29日(土)	松戸市内の庚申塔をめぐる	富澤 達三	51人
12月13日(土)	松戸の「中世を増やす」試みⅡ	中山 文人	43人

(2) 講座

■古文書を読む(近世入門編)(会場:当館実習室)

開催月日 令和7年11月3日(月・祝)～12月21日(日)までの日曜日(全5回)
 講師 富澤 達三(博物館学芸員)
 内容 市内旧家の古文書をテキストに、当時の時代背景なども説明しながら、くずし字の解読をおこなった。
 応募人数 30人
 参加人数 延べ120人(①26人②24人③23人④25人⑤22人)

■古文書を読む(近世中級編Ⅰ)(会場:当館実習室)

開催月日 令和7年5月31日(土)～7月26日(土)までの土曜日(全5回)
 講師 和泉 清司氏(高崎経済大学名誉教授)
 内容 千駄堀の名主・土屋亮平家文書の御用留を解読した。
 応募人数 29人
 参加人数 延べ128人(①26人②28人③28人④22人⑤24人)

■古文書を読む(近世中級編Ⅱ)(会場:当館実習室)

開催月日 令和7年9月7日(日)～11月2日(日)まで(全5回)
 講師 出口 宏幸氏(元江東区文化財主任専門員)
 内容 千駄堀の名主・土屋亮平家文書の御用留を解読した。
 応募人数 31人
 参加人数 延べ145人(①29人②29人③29人④27人⑤31人)

■吾妻鏡を読む(会場:男女共同参画センター「ゆうまつど」)

開催月日 令和7年9月4日(木)~10月30日(木)までの木曜日(全5回)
 講師 中山 文人(博物館学芸員)
 内容 寿永3年3月10日条から同年4月6日条までを解説・解説した。
 応募人数 32人
 参加人数 延べ 131人(①30人②27人③23人④26人⑤25人)

■パートナー講座

実施年月日	内容	主催者	派遣講師	参加人数
令和7年 4月29日(火)	大谷口の文化財をめぐる	松戸三田会	富澤 達三 (博物館学芸員)	7人
6月22日(日)	松戸市の100年をふりかえる	松戸史談会	林 幸太郎 (博物館学芸員)	23人
9月26日(金)	松戸の人生儀礼	明第2西地域包括 支援センター	青木 俊也 (博物館学芸員)	7人
11月15日(土)	松戸の江戸時代 -庚申信仰と庚申塔について-	ゼファーヒルズ 松戸フィオーリーナ 自治会	富澤 達三 (博物館学芸員)	9人
12月5日(金)	松戸市域の戦跡をたどる	千葉県退職者連合 東葛地域協議会	林 幸太郎 (博物館学芸員)	23人
12月23日(火)	“まつど”の農業・園芸の歴史 -明治~大正を中心に-	東葛園芸クラブ	林 幸太郎 (博物館学芸員)	45人
令和8年 3月5日(木)	小金地区の歴史「庚申塔と小金」	小金地区社会福祉 協議会	富澤 達三 (博物館学芸員)	人

■その他講師派遣等

実施年月日	内容	主催者	派遣講師	場所	参加人数
令和7年 6月27日(金)	東葛の旧石器・縄文時代	千葉県生涯 大学校	西村 広経 (博物館学芸員)	千葉県生涯大学校 東葛飾学園	84人
9月5日(金)	戦国時代の松戸市域や東葛 のようす	千葉県生涯 大学校	中山 文人 (博物館学芸員)	千葉県生涯大学校 東葛飾学園	76人
9月24日(水)	稲作と祭りの関係	旭町小学校	米村 創 (博物館学芸員)	旭町小学校	97人
10月25日(土)	有名人総出演 松戸市立博物 館の古文書を眺めていたら、 関東・東海の大事件がわかっ ちゃった噺	専修大学松戸 中学校	中山 文人 (博物館学芸員)	専修大学松戸 中学校	131人

9月25日(木)	常盤平地区の移り変わり	常盤平第一 小学校	青木 俊也 (博物館学芸員)	常盤平第一小学校	15人
11月21日(金)	歴史系地域博物館の学芸員 の活動	明治大学	中山 文人 (博物館学芸員)	明治大学	53人
1月29日(木)	市の様子と人々のくらしの うつりかわり	上本郷第二 小学校	米村 創 (博物館学芸員)	上本郷第二小学校	59人
令和8年 2月19日(木)	令7年度 まつど生涯学習 大学「松戸の葬送儀礼につい て」	まつど 生涯学習大学	青木 俊也 (博物館学芸員)	松戸市民劇場	145人

(3) 体験学習

■こども体験教室「親も楽しむ 米づくりと展示づくりー小学生学芸員になろうー」(友の会共催)

(会場:21世紀の森と広場の水田・博物館実習室等)

対 象 者 小学4年生～6年生と保護者の方

開催月日 ① 令和7年4月26日(土) 田おこし・代かき

② 5月10日(土) 田植え

③ 6月28日(土) 田の草取り

④ 7月26日(土) 案山子づくり

⑤ 9月20日(土) 稲刈り

⑥ 10月4日(土) 脱穀

⑦ 10月18日(土) かまどでご飯を炊く・展示づくり①

⑧ 11月8日(土) 展示づくり②

⑨ 11月15日(土) 展示づくり③

⑩ 12月13日(土) 小学生学芸員展示解説会

内 容 21世紀の森と広場内の水田で、田おこし、代かき、田植え、田の草取り、案山子づくり、稲刈り、脱穀までの一連の米づくりにおける作業を体験し、竈でご飯を炊き試食した。さらに、その作業を示したパネルをつくり、博学連携展示「松戸探検100 年前からのくらしのうつりかわり」のなかで小学生学芸員コーナーとして展示し、展示解説会を行った。なお、この体験教室には博物館友の会の有志の協力を受けた。

講 師 青木 俊也・米村 創(博物館学芸員)、平松 澄明(学習支援専門員)、友の会会員有志

応募人数 24人(小学生12人、保護者12人)(※定員10組)

参加人数 延べ168人(①22人②14人③15人④20人⑤24人⑥23人⑦17人⑧9人

⑨12人⑩12人)

■こども体験教室「親も楽しむ 勾玉づくり」(会場:実習室)

開催日	時間	対象者	講師	応募数	参加人数
令和7年 8月17日(日)	①10:00~11:00 ②13:30~14:30	小学生・保護者 ※児童だけの参加も可	西村 広経 (博物館学芸員)	57人	31人
内容:滑石を研磨して勾玉を作る。					

■こども体験教室「博物館で学ぼう!遊ぼう!体験講座」

- 対 象 者 ①小学1年生~3年生の部 ②小学4年生~6年生の部
- 講 師 三島 孔明(千葉大学園芸学部准教授)・西村 広経(博物館学芸員)
鵜沼 豊・平松 澄明(博物館学習支援専門員)
- 日 程 ①令和7年10月 5日(日)13:30~15:30(親子体験)
②令和7年10月19日(日)13:30~15:30(子どものみ)
- 参加人数 ①4組 ②4人
- 応募人数 ①18組 ②8人
- 内 容 子どもたちが博物館、竪穴住居、21世紀の森と広場でやってみたいことを大募集! 21世紀の森と広場の探索や竪穴住居での石蒸し料理体験など、楽しい学習体験となった。

■体験教室「裂き織りでポケットティッシュケースを作ろう!」(友の会共催)

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
令和7年 7月30日(水)	① 9:40-10:20	一般	はたくさの会会員	31人	31人
	②10:40-11:20				
	③11:40-12:20				
	④13:40-14:20				
	⑤14:40-15:20				
7月31日(木)	9:40-12:00				
内容:裂いた古布を素材として、新しい布に再生し、ポケットティッシュケースを作る。					

■「千駄堀たんけん隊-地形・石仏・道をさぐる-」

- 対 象 者 小学4年生~中学3年生
- 講 師 富澤 達三・米村 創・林 幸太郎(博物館学芸員)
- 日 程 令和7年11月22日(土)13:00~16:30
- 参加人数 4人
- 応募人数 4人
- 内 容 21世紀の森と広場、周辺(千駄堀円能寺・香取神社)を探検し、身近にある文化財や地形・自然物などへの理解を深める。

(4) ミュージアムシアター・プレイルーム

■ミュージアムシアター

公共上映権付きのドキュメンタリーを、講堂において毎日・月替わりで定時上映した。ただし、講演会等の開催時には、上映を中止した。

上映時間 11:00～、13:15～、15:15～

土日祝日の午後1時15分上映分は「キッズシアター」として、子ども向けのアニメーションを上映した。

ミュージアムシアター

上映月	タイトル	上映日数	観覧者数	一日平均
令和7年4月	プーチンと西側諸国 第1巻/「ロシアの縄張り」	25日	69人	2人
5月	EXPO OSAKA1970/1970年大阪万博と日本	25日	93人	3人
6月	EXPO OSAKA1970/1970年大阪万博と日本	18日	47人	2人
7月	A hope of NAGASAKI 優しい人たち	27日	38人	1人
8月	for you 人のために	27日	34人	1人
9月	ビッグ・リトル・ファーム/理想のくらしのつくり方	25日	30人	1人
10月	ひとにぎりの塩	27日	60人	2人
11月	プーチンと西側諸国 第2巻/「アラブの春での復讐」 ナガサキの少年少女たち	21日	98人	4人
12月	レアメタルと気候危機	21日	44人	2人

キッズシアター

上映月	タイトル	上映日数	観覧者数	一日平均
令和7年4月	ももたろう・ねずみのむことり・南風と北風・へっこき嫁さん	8日	32人	4人
5月	なすおばけ・かちかちやま・ほれぐすり・金の目・銀の目	11日	47人	4人
6月	そうめん地蔵・きつねの恩返し・わらしべ長者・金太やんと銀太やん	7日	73人	10人
7月	おむすびころりん・閻魔さまの失敗・狐と狸の寄り合い田・金のかに	8日	51人	6人
8月	白鳥になった天の娘・文福茶釜・山のせいくらべ・鼻取り地蔵	8日	34人	4人
9月	ねずみ経・夢の蜂・天女のはごろも・鳥のみじい	9日	18人	2人
10月	うらしまたろう・徳坊の天狗退治・ときが原の女狐・空とぶ舟	7日	24人	3人
11月	若返りの水・三枚のお札・鬼の嫁さん・ねこにすず いわたくんちのおばあちゃん～ぼく、戦争せんけえね～ つるにのってーとも子の冒険ー	8日	36人	4人
12月	夢見小僧・もちを三つもらった話・びんぼう神と福の神・ たんが寺のたぬき和尚	5日	12人	2人

■プレイルーム

いつでも来館者が楽しみながら学べる場として、年齢問わず無料で開放している。

常設体験プログラムの他にも、イベントに合わせて「アンデスの笛サンポーニャをつくろう！」や季節に合わせたマンスリープログラムも実施した。

【令和7年度常設体験プログラム】

- ・プレイルームでぬりえ！（こむそう[虚無僧]・たてあなじゅうきょ[竪穴住居]等、12種類）
- ・パズルをたのしもう！（おししがり[御鹿狩]の絵、じょうちゃん・もんちゃんの絵）
- ・アンギン編み体験
- ・アンギン衣装体験
- ・土器パズル
- ・糸車により糸つむぎ（プレイルームスタッフによる実演）

令和7年度利用者総数10,575人

うちマンスリープログラム参加者数 1,647人

開催月	イベント名	回数	参加人数
4・5月	こいのぼりづくり	4回	627人
6月	かえるぴょんぴょん選手権	2回	137人
7月	むかしのひらがなであそぼう！	3回	158人
8月	自由研究対応講座アンギンコースターづくり	2回	115人
9・10月	むかしのあそび	4回	286人
11月	パズルの日	1回	77人
12月	しめかざりづくり	2回	247人

※この他、こどもミュージアム用プログラムの試行として縄文模様お絵描き伝言ゲームなどの体験プログラムも実施した（43人が参加）。

(5) 館内公開

対象者 一般

開催月日 令和7年8月24日(日)10:00～11:00 ・11:30～12:30

※応募者多数のため、2回開催した。

内 容 博物館の多様な活動への理解を促進するため、通常非公開のバックヤード(車庫、荷解梱包室、燻蒸室、学芸員室、スタジオ、機械室、収蔵庫)を紹介・解説するもの。

講 師 青木 俊也・富澤 達三・西村 広経(博物館学芸員)

応募人数 75人

参加人数 合計31人(①15人②16人)

(6) ガイドツアー(常設展示解説)

「人類の登場」から「都市へのあゆみ」まで、2名の展示解説員によるリレー方式の解説会を毎日随時受け付けを行った。(解説時間約30分)。なお、団体観覧者においては適宜開催した。

参加者 288人

(7) 情報提供

■閲覧コーナー

購入図書及び関係諸機関との交換図書の閲覧サービスを行っている。蔵書の一部は開架で提供している。

・蔵書数(令和8年1月31日現在)

開架図書冊数 1,230 冊

閉架図書冊数 45,114 冊

合計 46,344 冊

・閲覧コーナーの利用者数 1,411 人

・閉架図書の利用状況

利用人数 48 人

利用冊数 160 冊

・視聴覚資料数

ビデオテープ 413 巻

CD 93 巻

DVD 245 巻

LD 4 巻

■刊行物

令和7年度の刊行物は次の通りです。

・松戸市立博物館年報 第32号

A4版 63頁 500部 令和7年9月12日

・松戸市立博物館紀要 第33号

A4版 66頁 700部 令和8年3月発行予定

■SNS による情報発信

令和6年4月29日に当館公式 Facebook、X(旧 Twitter)、Instagram を開設以来、最新情報を発信している。

■ICT の活用

- ・ 松戸市立博物館団体申込受付電子受付を行っている。
- ・ 3D モデルを活用した展示

■まつどデジタルミュージアム公開資料件数()は前年度比

	歴史	民俗	考古
令和6年度	15,774	4,163	8,256
令和7年度	15,774(0)	4,163(0)	9,999(1,743)

3 連携事業

(1) 博学連携プログラム

①受け入れ

■博物館実習

令和7年度博物館実習生 8人

	所 属
1	淑徳大学 人文学部歴史学科 4年生
2	立教大学 文学部 文学科 3年生
3	八洲学園大学 生涯学習学部生涯学習学科 正科生
4	大正大学 文学部歴史学科 4年生
5	青山学院大学 文学部史学科 4年生
6	神奈川大学 国際日本学部 歴史民俗学科 4年生
7	立正大学 文学部 史学科 4年生
8	日本女子大学 人間社会学部 現代社会学科 4年生

(1)合同実習

月 日	午 前	午 後
7月27日(日)	松戸市立博物館の概要・理念・場所解説	常設展・企画展、館内バックヤード見学

(2)個別実習

7月31日～8月6日(8月4日を除く)

月 日	午 前	午 後
7月31日(木)	考古学分野実習(資料の扱い方ほか)	同左
8月1日(金)	市川歴史博物館・市川考古博物館の見学	葛飾区郷土と天文の博物館の見学
8月2日(土)	民俗分野実習(カラムシ繊維採取体験)	同左

8月3日(日)	歴史分野実習(近世・近代古文書整理)	同左
8月5日(火)	共通テーマ「常設展示の批判と改善について」	同左
8月6日(水)	「常設展示の批判と改善について」研究発表	実習まとめ・レポート執筆など

■MCR 学級生による企画展の見学会

連携対象 MCR(Matsudo Child-raising Class)※家庭教育学級の一環として市内在住の小中学生保護者のための学びの場)

開催月日 令和7年10月30日(木)10:00~12:00

内 容 館蔵資料展「誕生・結婚・死の儀礼-人生の始まり方 終い方-」と常設展を見学した。

参加人数 40人

■千教研松戸市会社会科教育部会市内研修

連携対象 千教研松戸市会社会科教育部会

開催月日 令和7年8月28日(木)

内 容 千葉県教育委員会教員研修の一環として、常設展を見学した。

参加人数 18人

■千葉県立小金高等学校インターンシップ

連携対象 千葉県立小金高等学校生徒

開催月日 ①令和7年8月20日(水)・8月21日(木)
②令和7年10月1日(水)・10月2日(木)

内 容 学芸員の指導のもと、資料整理などの体験メニューや高校生の進路選択の一助となるよう、歴史資料(古文書)の解説・整理、考古資料の取り扱い・整理、学芸員とのフリートークを行った。

参加人数 合計11人(①9人②2人)

■千葉県立松戸南高等学校インターンシップ

連携対象 千葉県立松戸南高等学校生徒

開催月日 令和7年11月12日(水)・11月13日(木)

内 容 学芸員の指導のもと、バックヤード見学や資料整理、資料の取り扱いなどの体験メニューを行った。

参加人数 2人

■レッツ体験!!2025(まつど市民活動サポートセンター主催)

連携対象 市内在住・在学の中高生、専門学生、大学生等 10代から20代の青少年

開催月日 令和7年7月25日(金)・7月26日(土)

内 容 学芸員の仕事体験として、館蔵歴史資料(近代の教科書)の整理、米作り体験(田の草取り・案山子作り)の補助、館内のおすすめスポットを紹介してもらう「わたしの松戸市博」(博物館公式SNSで発信)を作成した。

参加人数 8人

②派遣

■出前講座

市内の小学校・中学校を対象とし、当該校からの要請に応え、博物館学芸員及び学習支援専門員が、通常の授業の中でゲストティーチャーとして指導・支援を行った。

実 績 4校(その他講師派遣等を参照)

■地域学習

常盤平第一小学校にて博物館アワードを活用し、常盤平に関する学習成果の発表会を行った。

開催日時 令和7年12月10日(水)～25日(木)

講 師 青木 俊也(博物館学芸員)

参加人数 27人

③事業

■博物館でアート

対 象 者 小学4年生以上

開催日時 ①令和7年 7月20日(日)

②令和7年 8月24日(日)

③令和7年 9月21日(日)

④令和7年10月26日(日)

内 容 博物館の環境を活用して造形活動を行った。令和7年度はステンシルによる型染体験、色鉛筆を使った松戸の名所の塗り絵と、クラフトバンド(紙製バンド)を使った縄文時代の編物(ポシェット)、組紐のアクセサリー作りを体験した。

講 師 鴉沼 豊・平松 澄明(博物館学習支援専門員)

参加人数 合計58人(①10人②12人③19人④17人)

■第10回博物館アワード

趣 旨 博学連携の一環として、博物館機能並びに環境を生かしたコンクールを開催することにより、児童生徒の博物館に対する理解を深めるとともに、博物館の積極的な活用を推進する機会とする。

募集概要 (1)募集内容並びに募集対象者

①歴史に関する自由研究部門

小学生3・4年の部、小学生5・6年の部、中学生の部

②歴史に関するイラスト部門

小学生3・4年の部、小学生5・6年の部、中学生の部

(2)募集期間

令和7年9月2日(火)～9月15日(月・祝)

(3)表彰 ※第10回開催にあたり記念賞を増設した。

①自由研究部門各部の最優秀作品に対して市長賞、教育長賞、博物館長賞、審査委員長賞、第10回記念賞、各1点、さらに優秀賞9点、その他佳作36点

②イラスト部門各部の最優秀賞作品に対して、市長賞、教育長賞、博物館長賞、審査委員長賞、第10回記念賞、各1点、さらに優秀賞9点、佳作39点

応募点数

	小学生3・4年の部	小学生5・6年の部	中学生の部	合計
自由研究部門	40	62	55	157
イラスト部門	58	50	200	308

応募校数 自由研究部門 26校

イラスト部門 31校

■第10回博物館アワード作品展

展示意図 第10回博物館アワード(歴史自由研究部門、歴史イラスト部門)に応募した小中学生の入賞、入選作品を展示した。

主催 松戸市立博物館

会期 令和7年12月10日(水)～12月25日(木)

会場 松戸市立博物館 企画展示室

観覧料 無料

作品数 自由研究部門 50点

イラスト部門 241点

第10回博物館アワード審査結果【イラスト部門】

●市長賞

専修大学松戸中学校 2年生
「弥勒菩薩」



●教育長賞

松戸市立高木第二小学校 3年生
「愛媛の太鼓祭」



●博物館長賞

松戸市立河原塚中学校 2年生
「本土寺とあじさい」



●審査委員長賞
松戸市立河原塚中学校 2年生
「縄文のヴィーナス」



●第10回記念賞
松戸市立第五中学校 2年生
「ねぶた」



第10回博物館アワード審査結果【自由研究部門】

●市長賞
松戸市立河原塚小学校 6年生
「今も残る江戸時代 松戸の庚申塔」



●教育長賞
松戸市立常盤平第三小学校 6年生
「80年前のあの日、何があったのか
～高祖母の戦争体験を追って～」



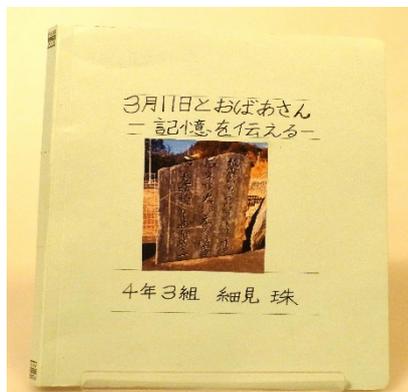
●博物館長賞
松戸市立相模台小学校 5年生
「『野菊の墓』の研究～明治時代後期の調査と野菊の墓巡り～」



●審査委員長賞
松戸市立東松戸小学校 6年生
「北の大地で調理体験」



●第10回記念賞
松戸市立相模台小学校 4年生
「3月11日とおばあさんー記憶を伝えるー」



■森のこども館はくぶつかんチーム

主催	松戸市立博物館・森のこども館
対象者	市内在住の小学生
趣旨	体験型を通年の連続講座として実施し知識・経験を蓄積していくことで、歴史・文化に関する関心と理解を養う。
日時	①令和7年5月18日(日) ②6月22日(日)③7月20日(日) ④11月16日(日) ⑤12月21日(日) 小学生は10:00-11:00・中学生は11:15-12:15
場所	森の工芸館、松戸市立博物館実習室ほか
内容	①「かんさつ」と「きろく」:拓本をとろう ②素材のちがいを:石の勾玉、土の勾玉 ③みえないぶぶんを考える:レプリカ法 ④ちがう道具、同じやくわり:石蒸し料理 ⑤じっくり「かんさつ」しよう:展示見学
刊行物	連続講座の内容を紹介したパンフレット(『森のこども館×松戸市立博物館はくぶつかんチーム vol.3』)を刊行予定。
参加人数	5人
講師	西村 広経(博物館学芸員)

(2) その他

■野菊野こども館ワークショップ「拓本で土器のもようを写しとろう！」

連携対象	野菊野こども館
対象者	小学生
開催月日	令和7年7月30日(水) 13:30~15:00
内容	縄文土器の拓本製作を体験した。
場所	野菊野こども館
参加人数	14人
講師	西村 広経(博物館学芸員)

■3館連携事業 まつど文化のMORI「-謎解きラリー2025-」

概要	博物館・21世紀の森と広場・森のホール21の各所に同時期に開催の館蔵資料展にまつわるクイズを設置。来場者は設置場所をまわり、人生儀礼にまつわる謎を解き、回答済みのラリーシートを博物館プレイルームに持参すると景品がもらえる。
開催期間	令和7年9月20日(土)~11月3日(月・祝)
場所	松戸市立博物館・21世紀の森と広場・森のホール21
参加人数	627人

■「まつどの梨」出店販売

概要	連携特別展の開催に合わせて、展示テーマの一つ「まつどの梨」を出店販売した。
開催月日	令和7年8月30日(土)
場所	松戸市立博物館ロビー
連携事業者	一般社団法人 松戸市観光協会・松戸市観光梨園組合連合会

■出会う つながる ブックフェス in Matsudo

概要	博物館ブースを出店し、刊行物やオリジナルグッズを宣伝した。また、館長講演会を行った。
開催月日	令和7年12月7日(日)
場所	森のホール21
館長講演会	渡辺 尚志(博物館館長)「松戸の江戸時代を知る」～私の著作から～
主催	公益財団法人 松戸市文化振興財団

4 資料の収集と利用

(1) 資料の収集

一次資料 収集受贈

・山崎 禮子様	「山崎禮子家(旧奥富薬局)文書」	214点
・芝崎 孝様	「縄文式土器(中期)」	1点
・笹川 里菜子様	「縄文土器残欠」 河原塚遺跡採集 「縄文土器残欠」 貝の花遺跡採集 「縄文土器残欠」 採集地不明 「耳飾残欠」 採集地不明 「貝化石」 貝の花遺跡採集 「貝化石」 採集地不明	106点 83点 189点 2点 13点 6点
・関口 貴之様	「壺形土器」	1点
・牛米 努様	「東葛飾郡教育視察復命書(写)」 「醤油醸造営業者帳簿記載方二関スル講和要領(松戸 税務署長竹内駿作監修)」	2点
・北島 俊一様	「千葉大学園芸学部卒業アルバム」	1点

寄託

・上本郷獅子講中 様	「上本郷獅子講中史料」	528点
	「上本郷獅子舞 獅子頭羽根飾り」	3点
・石井 正人 様	「石井包人家文書」	1,227点
・塚田 輝夫 様	「旧秋山村渡辺家文書(近世地主関係)」	42点
・高城 安夫 様	「北条氏直印判状」	1点
・城光寺 信頭 様	「庚申板碑」	1点
・松戸 雅男 様	「錦果園関係資料」	55点
・中山 幸一 様	「上本郷 中山敏子家文書」	62点

二次資料収集

受贈図書 30冊(団体 11 冊、個人 19 冊)

購入図書 71 冊

交換図書 378 冊

図書交換機関等 294 カ所

購入逐次刊行物 28 タイトル

受贈及び交換逐次刊行物 146 タイトル

(2) 博物館資料の貸し出し（令和7年4月1日～令和8年1月31日）

No.	貸出期間	借業者	利用形態	目的	貸出資料・点数
1	令和8年1月14日 ～令和8年3月21日	千葉市立郷土博物館	資料貸出	特別展「千葉氏と城館」に展示するため	輪宝かわらけほか 12点 小金城跡模型 1点

(3) 博物館資料の特別利用

No.	利用日	利用者	利用形態	目的	利用資料・点数
1	令和7年4月15日	松縁会	写真掲載	インターネット上の配信ウェブサイト「note」掲載する文章にて使用するため	企画展図録『あの日のまつど』p.28掲載写真、No.104「松戸市街を葛飾区から遠望(1989年)」
2	令和8年2月25日	サイネット株式会社	写真掲載	株式会社帝国書院発行、高等学校 地理歴史科 歴史総合教科書準拠ノートに掲載のため	常盤平団地の復元展示写真 1点
3	令和7年6月1日	Hops5	写真掲載	書籍への掲載のため	01-06-012柳仙育英センター(広報課旧蔵写真)
4	令和7年9月	帝国書刊行会	写真掲載	書籍への掲載のため	深鉢形土器(幸田貝塚)ほか 6点
5	令和7年6月11日	主婦の友社	写真掲載	京葉ガスウェブサイト「withyou千葉」6月配信「地元の博物館に行ってみよう！」企画掲載のため	竪穴住居外観ほか8点
6	令和7年6月11日	株式会社ニームツリー	写真撮影	『京成らいん×kodomoe』(9月末配布)撮影	復元竪穴住居
7	令和7年6月10日	個人	写真掲載	ホームページへの掲載原稿の資料写真にするため	幸田貝塚出土土器、幸田貝塚出土遺物
8	令和7年7月1日	株式会社YTE	写真掲載	「秘密のケンミンSHOW極」SP#13(2022年10月20日放送)の借用素材(画像データ)を香港テレビ局PCWでの海外再放送に使用。	二十世紀梨 原木
9	令和7年7月2日	埼玉県立川の博物館	資料調査 写真撮影	令和7年度春季企画展「秩父礼所」資料調査のため	大熊家文書、秩父の巡礼関係文書
10	令和7年9月	帝国書刊行会	写真掲載	書籍への掲載のため	異形台付土器(貝の花遺跡)
11	令和7年7月25日	株式会社ココロマチ	写真掲載	街の歴史を古写真で紹介するWebサイト「このまちアーカイブスの動画(youtube)版に再掲載するため	千葉大学工学部 昭和28年
12	令和7年7月15日	松戸市立博物館友の会	紙焼きコピー	松戸市立博物館友の会古文書部会のテキスト作成のため	土屋亮平家文書2432 明治四年 御用留
13	令和7年7月	戎光祥出版	写真掲載	『中世城郭の新論点』に掲載のため	小金城および根木内城の空堀写真 各1点
14	令和7年7月17日	個人	調査・写真撮影	学術調査	磨製石斧(子和清水遺跡) 1点
15	令和7年7月27日	下総考古学研究会	調査・写真撮影	学術調査	縄文土器(紙敷遺跡) 9点
16	令和7年7月17日	サンケイリビング新聞社	写真撮影	柏高島屋ステーションモール公式SNS・公式HP内『カシまつぱ』コーナーへの掲載のため	博物館外観1点、博物館エントランスホール2点、常盤平団地の再現展示15点
17	令和7年9月21日	東京新聞 千葉支局	写真掲載	東京新聞千葉県版 9月21日情報コーナー告知記事掲載のため	葬式用祭壇 1点

18	令和7年10月2日	株式会社C R A Z Y TV	写真掲載	テレビ番組(NHK総合「ひむバス！」千葉・松戸市編)で使用	上本郷源湯(広報課旧蔵写真)
19	令和7年9月17日	SkidmoreCollège, Matt Wilt	写真掲載	Global Ceramics: Concurrent Histories and Traditions に掲載するため	脱穀盆(『ペルシャ文明の曙』No.29)
20	令和7年9月27日	古代オリエント博物館	写真掲載	企画展「やっぱりエジプトが好きー昭和のニッポンと古代のオリエント」で使用	小櫃氏家族写真2点
21	令和7年10月28日	テレビ朝日映像株式会社	写真掲載	フジテレビ「今夜はナゾトレ」にて番組内で団地の紹介・解説を目的として使用	常盤平団地の復元展示写真2点
22	令和8年2月25日	サイネット株式会社	写真掲載	帝国書院発行 高校地歴科教材「図説 日本史通覧」に掲載のため	石皿写真(子和清水遺跡)
23	令和7年11月9日	千葉縄文研究会	調査・写真撮影	学術調査	縄文土器106点(幸田貝塚・重要文化財)
24	令和7年11月1日	八柱霊園管理事務所	写真掲載	八柱霊園開園90周年記念事業パネル展	河原塚1号墳ほか9点
25	令和7年10月15日	個人	転載	書籍に掲載するため	『松戸市立博物館 改訂版 常設展示図録』ほかから、7点の図版転載
26	令和7年10月25日	千葉市立郷土資料館	資料の熟覧・撮影	特別展示に関する資料調査	小金城跡第1地点(大谷口遺跡)・第6地点出土資料
27	令和7年11月26日	個人	資料の熟覧・撮影	論文作成に関する資料調査	大川五兵衛家文書ほか3点
28	令和7年12月10日	(株)ytb Nexter	展示室の撮影	番組制作の為	常盤平団地室内
29	令和8年1月24日	ロントラ株式会社	画像利用	BS朝日「自分流～“知”の探求者たち～」で使用	復元竪穴住居、石皿と磨石
30	令和7年12月12日	六高台三丁目町会	画像利用	松戸市六高台三丁目町会 催し 令和7年度2回うずらカフェ～郷土史講演パワーポイントで使用	小金御狩乃図 御前夜高柳の景・御狩場の景
31	令和8年2月17日	埼玉県立川の博物館	画像利用	「巡礼者は秩父を目指す！」展の展示図録への掲載	『西国道中日記帳』1 大熊家文書60 『諸国参詣に付き御餞別請納帳』2 大熊家文書492 『秩父道中覚』1 大熊家文書502 『神仏掛物表具数帳』1 大熊家文書1084
32	令和7年12月16日	みどりと花の課	写真利用	① パブリックコメント実施時の資料の松戸市街路樹の整備・管理に関するガイドライン(案)及び当該概要版(案) ② パブリックコメント実施時の資料の松戸市街路樹の整備・管理に関するガイドライン及び当該概要版	常盤平団地中央商店街交差点(1960年頃)HPの市立博物館学芸員による松戸の歴史解説「常盤平団地60年の生活史に向けて」ページにある写真 1
33	令和7年12月19日	常盤平駅周辺まちづくり推進課	写真利用	常盤平SONOプロジェクトの活動において使用	松戸市市立博物館調査報告書7「森の住宅都市常盤平団地の住宅史 1960—202」掲載の写真 43点

34	令和8年2月3日	個人	映像利用	教育・研究の資料とするため(鉄道に関する同人誌制作の参考資料とするため)	常磐線電化記念祝賀会映像(昭和11年)
35	令和8年3月14日	京成電鉄株式会社	写真利用	講演会「線路が語る新京成電鉄の歴史 鎌ヶ谷初富駅が終着駅だった頃」(鎌ヶ谷市立図書館)における講演資料への掲載のため	新京成電鉄(昭和28年末～同 29年初頃)

(4) 資料の燻蒸等

[収蔵庫燻蒸]

殺虫・殺卵・殺菌を目的とする密閉燻蒸を行った。

期 間:令和7年6月16日(月)～6月23日(月)

対 象:第1～第4収蔵庫

委 託 先:関東港業(株)

使用薬剤:酸化プロピレンとアルゴンの混合剤(商品名アルプ)

[連携特別展・館蔵資料展資料燻蒸]

殺虫・殺卵を目的とする燻蒸を行った。

期 間:令和7年11月18日(火)～12月2日(火)

対 象:展示資料

委 託 先:関東港業(株)

使用薬剤:二酸化炭素(炭酸ガス)

[野外展示・復元竪穴住居]

殺虫を目的とする駆除作業を行った。

期 間:令和7年6月16日(月)～6月23日(月)

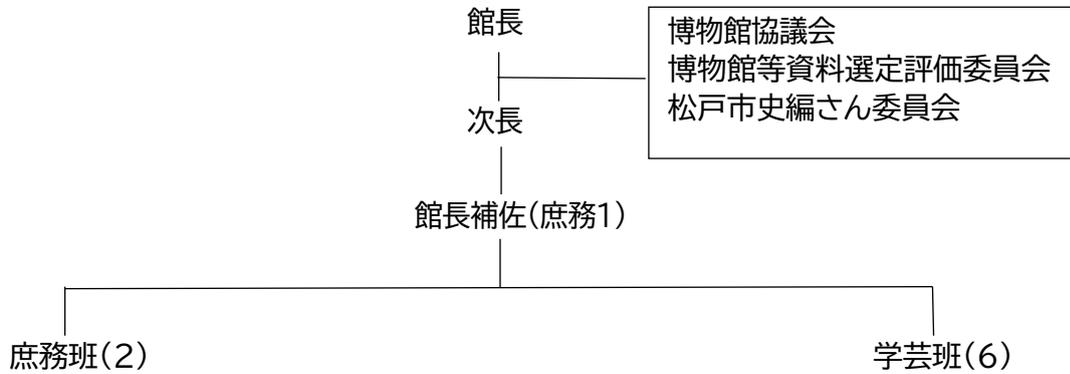
対 象:復元竪穴住居3棟

委 託 先:関東港業(株)

使用薬剤:フェントリン炭酸製剤(商品名ミクラン S)

Ⅲ 組織と運営

1 組織



2 歳出予算

(単位 千円)

科目	事業 予算額	博物館管理運営事業					
		博物館協議会委員	博物館等資料選定 評価委員会委員	施設関係	展示	学習支援	歴史資料収集調査
報酬	304	204	100	0	0	0	0
報償	970	0	0	0	330	350	290
旅費	100	0	0	0	0	0	100
需用	36,661	0	0	24,279	7,492	1,757	3,133
役務	2,300	0	0	863	984	130	323
委託	145,774	0	0	132,594	6,861	17	6,302
使用	6,567	0	0	4,338	1,403	612	214
工事	0	0	0	0	0	0	0
原材	18	0	0	18	0	0	0
備品	1,977	0	0	0	345	100	1,532
負担	89	0	0	0	0	0	89
計	194,760	204	100	162,092	17,415	2,966	11,983

3 事務事業

事務事業名	事務事業の主な内容
博物館協議会委員	博物館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる。博物館協議会において適切な事業方針を審議する。
博物館等資料選定評価委員会委員	松戸市立博物館及び松戸市戸定歴史館が行う資料の収集に関し、学識経験を有する者の意見等を求める。
施設関係	施設の維持管理を目的としており、館利用者が安全で快適な環境で学習できるよう施設を整備する。
展示	総合資料展・主題展示・野外展示・映像展示で構成し、市民に郷土と歴史と文化への理解を深めてもらう。また、年4回程度、企画展、資料展、博学連携展を実施する。
学習支援	歴史講座・体験講座・講演会等の開催、デジタル情報の提供、学校教育との連携などを図り、松戸の歴史文化等にかかわる最新情報を様々な媒体を通して提供する。
歴史資料収集調査	松戸を中心とする歴史・文化・自然史等に関する資料の収集・保存及び調査研究を行い市民の共有の資産として後世に伝える。
市史編さん	市民に郷土の歴史を知ってもらい、郷土に対する誇りを育てるため、松戸市史編さんを行う。平10年度に市長から諮問のあった『松戸市史 上巻』の改訂については、平成26年度に『松戸市史上巻(改訂版)』の刊行を行ったので、現在は、市長からの諮問案件はない。

4 各種委員会等

(1) 博物館協議会

委員名簿

(令和8年3月31日)

区分	氏名	役職等
1号委員 学校関係者	深沢 久	松戸市立小金北小学校 校長
	川上 俊輔	松戸市立栗ヶ沢中学校 教諭
2号委員 社会教育関係者	蒲生 誠一郎	松戸市立博物館友の会相談役
	谷鹿 栄一	千葉県立房総のむら主任上席研究員
3号委員 家庭教育の向上に 資する活動を行 う者	加藤 教子	NPO法人 松戸子育てさぼーとハー モニー副理事長
	頓田 絵里子	松戸市子ども会 育成連絡協議会役員
4号委員 学識経験者	佐藤 孝之	東京大学名誉教授(近世史)
	小島 孝夫	成城大学教授(民俗学)
	日高 慎	東京学芸大学教授(考古学)
	駒見 和夫	明治大学教授(博物館学)

任期2年 令和9年9月30日まで

第1回協議会

令和7年8月3日

会場:博物館実習室

議題:(1)松戸市立博物館リニューアル基本
構想・基本計画について
(2)連携特別展の内覧

第2回協議会

令和7年11月2日

会場:松戸市立博物館実習室

議題:(1)松戸市立博物館リニューアル基本
構想・基本計画における外部評価
について
(2)連携特別展・館蔵資料展の報告
(3)館蔵資料展の内覧

第3回協議会

令和8年2月26日

会場:教育委員会5階会議室

議題:(1)松戸市立博物館一時休館と再開につ
いて
(2)松戸市立博物館リニューアル基本構想・
基本計画事業評価について

(2) 博物館等資料選定評価委員会

委員名簿

(令和8年3月31日)

氏名	専門	役職等
佐野 賢治	民俗	神奈川大学名誉教授
岡塚 章子	写真	江戸東京博物館 都市歴史研究室長
久保田 昌希	歴史	駒澤大学名誉教授
望月 幹夫	考古	東京国立博物館客員研究員
小泉 雅弘	歴史	駒澤大学教授

任期2年 令和9年3月31日まで

令和7年度の開催無し

(3) 松戸市史編さん委員会

※「3 事務業務」にて記載のとおり、平成10年度に市長からの諮問のあった事業については、平成26年度で終了したので、現在市長からの諮問はない。

5 博物館利用者数の統計

利用者総計

利用者の内訳は以下の通りである。

常設展示観覧者数(令和7年4月1日～令和7年12月31日)

月	開館日数	有料観覧者数(人)					無料観覧者数(人)								観覧者数総計
		個人		団体		有料観覧者計	学習活動	身体障害者	70歳以上	中学生以下	視察等	友の会	無料開放日	無料観覧者数	
		一般	高校生大学生	一般	高校生大学生										
4	25	601	23	0	0	624	157	85	50	238	27	29	464	1,050	1,674
5	26	740	35	0	0	775	375	63	31	267	21	1	818	1,576	2,351
6	18	492	35	62	0	589	459	67	14	188	4	3	233	968	1,557
7	27	292	30	570	27	919	202	91	32	346	95	6	0	772	1,691
8	27	194	20	1,011	48	1,273	131	118	84	615	296	6	0	1,250	2,523
9	25	1,013	48	0	0	1,061	61	113	28	301	11	1	0	515	1,576
10	27	1,120	55	39	0	1,214	226	112	79	248	6	8	0	679	1,893
11	26	1,044	54	0	0	1,098	818	106	103	324	10	5	804	2,170	3,268
12	22	655	52	0	0	707	0	80	50	217	11	17	0	375	1,082
合計	223	6,151	352	1,682	75	8,260	2,429	835	471	2,744	481	76	2,319	9,355	17,615

企画展等観覧者数

展覧会	開催期間	開館日数(日)	有料観覧者数(人)					無料観覧者数(人)								観覧者総計
			個人		団体		有料観覧者計	学習活動	障害者	70歳以上	中学生以下	視察等	友の会	無料開放日	無料観覧者数	
			一般	高校生大学生	一般	高校生大学生										
博学連携展示「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」	(R7.1.15)~R7.4.1~R7.5.18	41														4,495 ※1
連携特別展「まつどくとくがわ-昭武・武定の生きた明治・大正・昭和-」	R7.7.12~R7.8.31	44	232	4	1,531	75	1,842	237	195	115	894	72	0	0	1,841	3,683
館蔵資料展「誕生・結婚・死の儀礼-人生の始まり方 終い方-」	R7.9.20~R7.11.3	39														5,796
松戸市平和祈念展「未来へとつなぐ平和」	R7.11.18~R7.11.30	12														2,062
博学連携展示「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」	R8.2.7~R8.2.22	14														
小計																16,036
第10回博物館アワード作品展	R7.12.10~R7.12.25	14														1,005
計																17,041

※1 観覧者数は令和7年4月1日から5月18日までの実績

博物館無料ゾーン利用者

博物館施設名	プレイルーム	シアター	野外展示	講座・講演会参加者	合計
日数(日)	223	216	218	—	—
利用者総(人)	10,575	840	13,740	2,995	28,150

博物館利用者総計

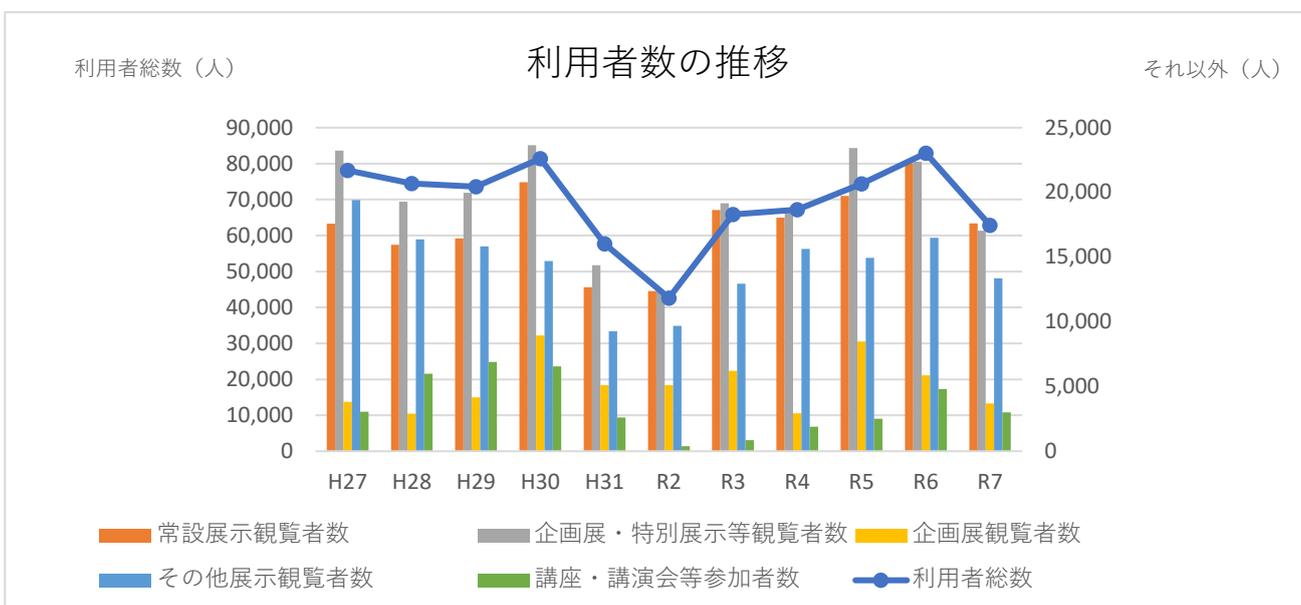
	令和7年度(※)	令和6年度	前年度比較
常設展示観覧者数	17,615	22,234	△4,626
企画展・特別展示等観覧者数	17,041	22,366	△ 5,325
博物館無料ゾーン利用者	28,150	38,313	△10,136
利用者総計	62,806	82,913	△20,107

※令和7年度は休館のため12月末までの総計

博物館利用者総数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(※)	
利用者総数	78,148	74,481	73,628	81,412	57,676	42,645	65,885	67,215	74,370	82,913	62,806	
常設展示観覧者数	17,593	15,942	16,437	20,777	12,666	12,389	18,636	18,058	19,720	22,234	17,615	
企画展・特別展示等観覧者数	23,220	19,288	19,985	23,653	14,381	12,353	19,160	18,548	23,428	22,366	17,041	
うち)	企画展観覧者数	3,809	2,917	4,153	8,959	5,109	5,109	6,216	2,922	8,489	5,866	3,683
	その他展示観覧者数	19,411	16,371	15,832	14,694	9,272	9,682	12,944	15,626	14,939	16,500	13,358
講座・講演会等参加者数	3,052	5,999	6,910	6,554	2,598	399	861	1,886	2,512	4,804	2,995	

※令和7年度は休館のため12月末までの総計



6 来訪者

令和7年

6月22日	東京新聞取材
7月4日	読売新聞取材
7月10日	松戸経済新聞取材
7月10日	千葉日報取材
7月10日	朝日れすか取材
8月20日	東京新聞取材
9月19日	松戸経済新聞取材
9月19日	千葉日報取材
12月17日	J:COM取材

令和8年

1月27日	松戸経済新聞取材
-------	----------

